

秋季大攻勢へ!

8/22-23 全金本山(仙台)全国集会 圧倒的に勝ち取る

日刊 勤労千葉

82.8.26

No.1131

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五、六(公衆)四五三二、七二〇七

本山闘争勝利・三里塚反戦・反核への決起を宣言

8月22、23日、全金本山労組主催の全国集会は各地から即ち仲間が結集し、仙台市・自治会館ホールをうづめて開かれた。82年前半期の勝利と夏季販売活動の大きな成果を反映し会場内の雰囲気は自信と確信に満ちていた。とくに集会前に才三回大会をかちとった本山労組の仲間たちは、八重樫委員長を先頭に「12年の試練を礎に、秋季大攻勢、三里塚や反戦・反核に全力で決起する」という気迫にあふれ、参加した我々を大いにふるいたたせた。

三里塚から萩原実行役員が参加し、訴える

八重樫委員長の挨拶のあと風雲急を告げる三里塚から萩原氏が駆けつけ拍手のなりやまめ中、現地情勢の緊迫化と10日三里塚現地集会への呼びかけを力強く行ない、全参加者が10月11日三里塚で合流しよう」と確認し合った。

又、勤労千葉からの代表団も熱烈な連帯の挨拶と決意を述べた。我々と本山労組とは兄弟組合として共にはげまし合いながら歩み、多くの事を学んできた。

「本山の仲間」に学び、本物の労働運動を創そう

本山の仲間たちの12年間は、資本、右翼ガードマン、暴力取締との激突、警察権力の弾圧との対決、加えて「一人の首切りも許さない」という労働組合の原則を堅持し叩きつけているが故に加えられた上級幹部からの「除名」という不当な反動的統制処分攻撃。こうした二重、三重の苦難にも負けずに戦闘的、階級的真紅の旗をかかげ、即ち全金の伝統を継承し発展させようと不屈に即

い続けているのが本山労組である。そればかりか会社側の不当ロッキンアウトによる全組合員給料不払いというしめつけにも屈せず、自らの財政的自立の闘いをモラルバイト、行商等家族ぐるみの闘いでのりこえるばかりか、更に進んで勤労千葉支援基金活動の先頭で奮闘している、奥にかけがえのないすばらしい同志連である。勤労千葉は「こうした本山の仲間たちに学び、連帯してこそ、真の階級的労働運動の道が開かれる」という決意を明らかにし、その実践として「勤労革マル弾劾」臨調対決「10/11三里塚総決起」を訴えた。

全国で高まる勤労革マル弾劾・一掃の声

各地、各戦線で即ち仲間から勝利の報告や一進一退の模様、反撃への決意などが熱烈に語られ、4時間のが集会もあつたという間に過ぎってしまった。中でも印象に残ったのは、勤労革マルへの怒りが多くの人々の中に

激しく広がっていることを

知ったことである。国鉄労働運動破壊に屈服し当局の手先となつて国鉄労働者の前に立ちはだかっている勤労革マル、彼らは本山闘争をはじめ戦闘的に即ち人達総てに「労働運動内の汚物をはみ出し」と悪ばを投げかけ、スキあらば即ち破壊に乗り出そうとあがいているのであり、即ち者は断じてこのような革マルを許さない。現に革マルなどが陰に陽に物資販売を妨害してまわつたにもかかわらず例年にならぬ販売成果をかちとったことが報告された。とりわけ全国的に国鉄戦線の中に大きく販売活動が広がっている事実を知り、勝利への確信を深めた。

10/11三里塚に総結集しよう

われわれ勤労千葉代表団は、この確信をもとに、即ち全金本山の仲間達と共に秋季大攻勢、三里塚10/11総決起を決意し、仙台を後にした。

御礼 本山支援夏季物資販売 勤労千葉売上げは、一七五〇、八五〇円を達成しました。御協力ありがとうございました。

6.12 公判の9回公判闘争に 結集しよう。8月31日又は13時・千葉地裁 集合11時・千葉運転区